

## 能登半島地震で被災された方へ

能登半島地震のニュースを見て、熊取南中学校の1年生で被災地に迷惑にならない形で何かできないかを考えました。そこで、【能登半島地震で被災した方へメッセージ】をテーマに掲示物を作成することにしました。それを学校のHPに掲載し、被災した方にメッセージを届けようということになりました。

そして、学活の時間に各クラスでメッセージを作成しました。メッセージの中には「困ったときは助け合って今を生きよう!!!あなたは一人じゃない!!!」「私はあまり力にはなることができませんが、一日でも早くみなさんが普通の生活に戻れることを願っています。」「みなさんの明日が少しでも明るい世界でありますように。」という言葉が書かれていました。他などのメッセージカードにも温かい言葉が書かれていました。

その後、各クラスで作成したメッセージを集め、模造紙に貼ったときに文字ができるようにしようという話になりました。そこで、選ばれた言葉が【きずな】です。

【きずな】は人と人との精神的な結びつきのことであり、離れても強く結びついているものだと思います。同じ時間、同じ日本で生きている人として、会ったことがなくとも【きずな】というものは存在しうると思います。だからこそ、温かい言葉の数々が少しでもエールとして生きる助力になればと思っています。

重ね重ねにはなりますが、被災地にいた方々に、熊取南中学校1年生一同のメッセージが届き、少しでも生きる活力になることを信じ、前途に幸あることを願っています。

